

令和4年 第9回

八幡浜市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和4年9月8日 木曜日 午後3時24分
- 2 場 所 保内庁舎3階 第4会議室
- 3 出席した者 教育長 井上靖
教育委員 菊池誠、泉俊也、山下貴満、成瀬いづみ
- 4 欠席した者 なし
- 5 会議に出席した公務員の職氏名
教育指導主幹 前田英隆 学校教育課長 梶本教仁
生涯学習課長 井上耕二 学校教育課長補佐 西村真徳
- 6 次 第 別紙のとおり

八 幡 浜 市 教 育 委 員 会 定 例 会 次 第
(令和4年9月 第9回)

- 1 教育長開会宣告
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長等の報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 8月分行事報告及び9、10月分行事予定報告
- 4 議 事
 - (1) 議案
なし
 - (2) 報告・協議事項
 - ① 学校部活動の地域移行について
 - ② 学校再編整備第二次実施計画について
 - ③ その他
- 5 その他
 - (1) 次回定例教育委員会の開催について
令和4年10月13日(木) 15時30分～ 保内庁舎3階 第4会議室
 - (2) その他
- 6 教育長閉会宣告

[開会時刻：午後3時24分]

教育長

1 教育長開会宣告

ただいまから令和4年9月第9回八幡浜市教育委員会定例会を開催します。

2 前回会議録の承認

前回会議録について何かご意見はございませんか。

各委員

「なし。」

教育長

それでは承認していただけますか。

各委員

「はい。」

教育長

ありがとうございました。

3 教育長等の報告

(1) 教育長報告

両面印刷の資料をご覧ください。

1. 児童生徒及び教職員の病気・事故等について

夏季休業中の事件や事故等はありませんでした。

2. 夏季休業中における新型コロナウイルス感染状況について

夏季休業中における新型コロナウイルス感染状況を表のとおり整理しました。夏休み42日間を週ごとに区切ってみましたが、八幡浜市の感染者数は、42日間で計1,528人、1日平均36.4人という状況でした。そのうち小学生が109人、中学生が47人の計156人で、市全体の10.2%にあたります。教員等は、学校生活支援員4名を含めて21人が感染しております。

3. 全国学力・学習状況調査結果について

前回、平均正答率については概略をお伝えしましたが、本日、詳細な資料をお配りしておりますので、後ほどご覧ください。説明は省略します。

4. 運動会について

9月に小学校4校、中学校4校で運動会が予定されています。全て午前中開催としており、来賓等の入場制限があります。

5. 修学旅行・自然体験活動について

修学旅行については、9月に小学校7校、10月に中学校4校が予定されています。既に1学期に実施している小学校もありますが、全ての小中学校でコースも日程もコロナ前の状況に戻した内容となっています。

6. その他

(1) 八幡市との中学生交流事業

八幡市と八幡浜市の中学生交流事業を8月17日から19日までの3日間で無事

に実施することができました。八幡市には、八幡浜市の子供たちが楽しく交流できるように細部に渡って配慮していただき、大変良い交流ができたと思います。

特に最終日のお別れの時に、八幡市の子供たちが作成した2日間の活動写真と八幡浜市の子供たちに向けたメッセージを書き入れた色紙がプレゼントされ、互いに別れを惜しむ感動的なシーンもありました。9月2日に市長への報告会も行っております。

(2) 第51回市教育研究大会教育講演会

講演会の資料をお配りしております。島根県から中島こどもクリニック院長の中島氏に来ていただいて、とても良いお話をさせていただきました。

(3) 市文化協会合同研修会

三瓶町出身で八幡浜高校を卒業された楠井隆志さんが八幡浜市の梅之堂三尊仏について講演されました。90分間の講演は、仏像の形や美しさが中心でしたが、終わりの方で話された「忘れてはならないこと」「未来に向けての願い」を裏面に記載しています。福岡県職員の楠井さんは、2007年に八幡浜市の3体と奈良国立博物館の2体の計5体を揃えて、福岡県九州国立博物館で展覧会を行っております。その10年後には、奈良国立博物館が八幡浜市の3体と共に展示会を行うなど、10年に1回の割合で、梅之堂三尊仏と奈良国立博物館の2体を揃えた展示会が行われており、こんな貴重な仏像は愛媛県下では八幡浜市以外にはないと話されていきました。

(4) 八西地区新人総体

八西地区新人総体は10月2日(日)の予定です。観戦については、保護者2名までの制限があります。軟式野球のみ、1日(土)と2日(日)の2日間にかけて行われます。

以上ですが、ご質問はありませんか。

泉委員

運動会について、来賓等の入場制限があるということですが、保護者に対しては制限がないのですか。

教育長

川上小や真穴小は地域の方も参加しますので、保護者の入場制限はありません。学校の規模にもよりますが、密を防ぐために1家庭2名までとする学校もあります。

来賓に関しては人数制限をしていますが、学校関係者評価委員さんは、学校の様子を見ていただかないと評価ができないので案内しています。その辺は、小学校同士、中学校同士で情報交換をしながら決めていると思います。

教育長

他に何かありませんか。

各委員

「なし。」

教育長

それでは、その他の報告に移ります。

(2) 8月分行事報告及び9月、10月分行事予定報告

生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

19 ページをお願いします。

9月9日、第43回八幡浜市クロッケー大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止としました。10月8日、9日は、山本隆弘氏主催による小学生対象のT-FIVE CUP、バレーボール四国大会が行われる予定です。10月20日は、芸術文化体験事業が行われます。八代中と松柏中でジャズの体験事業となります。

21 ページをお願いします。

9月10日から24日まで、八幡浜市美術展を八幡浜市美術館で行います。

毎月行っています映画上映会は、今回は10月1日に愛媛国際映画祭として実施します。10時から「風立ちぬ」、14時から「世の中に耐えて桜のなかりせば」を上映します。14時からの「世の中にたえて桜のなかりせば」は、愛媛県での上映が初めての映画で、当日は製作プロダクションのアルタミラピクチャーズ代表取締役で映画プロデューサーの榊井省志氏（久万高原町出身）と三宅伸行監督による舞台挨拶があります。

10月8日、9日は、保内文化のつどい、10月9日は、保内芸能のつどいが開催されます。9日は、同時開催となります。10月10日は、俳優の大沢健さんなどが出演されます「いざや！につぼんの踊りと響き」がコミカンで行われます。10月15日、16日は、優秀映画鑑賞推進事業として「次郎長三国志」ほか、4本の映画を上映する予定です。

その他にパンフレットを配布していますが、9月24日、25日に二宮忠八物語と松村正恒物語のミュージカルが開催されます。教育長が出演されますので、是非チケットのご購入をお願いします。

以上です。

教育長

市美術展についてはハガキをお配りしています。以前は開展式を行っていましたが、今年は実施しません。表彰式は、3連休の最終日9月19日の敬老の日に実施する予定です。

ご質問はありませんか。

各委員

「なし。」

教育長

4 議事

(1) 議案

今回は議案がありませんので、次に移ります。

教育長

(2) 報告・協議事項

① 学校部活動の地域移行について

学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長

お手元に配布しております「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要」をご覧ください。学校の働き方改革を考慮し、具体的なスケジュールが示されましたので、検討会議提言の概要について説明します。

左の欄に「運動部活動の意義と課題」「目指す姿」「改革の方向性」「課題への対応」が書かれています。

まず、「運動部活動の意義と課題」としては、深刻な少子化の進行や競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど教師にとって大きな業務負担が挙げられており、働き方改革が課題となっております。

「改革の方向性」としては、休日の運動部活動から段階的に地域に移行していくことを基本としています。目標時期が定められており、令和5年度から3年後の令和7年度末を目途に早期の移行を目指し、令和8年度から地域移行することになっております。平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進するということが書かれています。

「課題への対応」としては、地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体となるなど新たなスポーツ環境の整備や指導者資格の取得、研修の実施の促進によるスポーツ指導者の確保などが書かれていますが、これらについて今後協議していく必要があります。

説明は以上です。

教育長

続いて、教育指導主幹から教職員に対して行った部活動アンケート結果について説明をお願いします。

教育指導主幹

それでは、部活動アンケート結果をご覧ください。中学校の教員67名に対してアンケートを実施しました。

まず、設問1の「あなたが担当している部活動は何ですか。」との問いに対して、野球やサッカーなど担当している部活動が書かれています。67名に対して54件の回答となっておりますが、残りの13名は管理職や部活動を担当していない教職員となります。

設問2は、「担当している部活動について、経験の有無に関わらず、今の気持ちをお聞かせください。」との問いに対して、「自信をもって指導に当たっているこ

とができている」「どちらかといえば、自信をもって指導に当たることができている」と答えた人が合わせて 52%となっています。

設問 3 の「あなたは部活動の指導が負担になっていますか。」との問いに対しては、「負担になっていない」が 11%、「負担であるが、やりがいを感じている」が 43%、「負担を感じている」が 46%となっています。

設問 4 は、「設問 3 において、負担になっていない、または負担であるが、やりがいを感じていると回答した方で、そう思う理由を選んでください。(複数回答可)」との問いに対して、アからキの理由の中から回答しています。その中で特筆すべきことは、「生徒と教員の人間関係を築くことができるから」と回答した教員が 23 名いたことです。

設問 5 は、「設問 3 において、負担に感じていると回答した方で、そう思う理由を選んでください。(複数回答可)」の問いに対して、アからキの理由の中から回答しています。「部活動指導のために、プライベートの時間が少なくなるから」と回答した人が一番多く、その他の意見としては、「今年初めて中学校の教員となり、中学生の部活を経験したことがないため」と回答した人もいました。

設問 6 は、「地域移行になった場合、あなたが担当している部活動を受け入れてくれる民間スポーツ(文化)団体は存在しますか。」の問いに対して、「存在しない」が 20%、「存在する」が 41%、「わからない」が 39%となっております。その下には、八幡浜ソフトテニスクラブや八西柔道会など存在する団体の名前が書かれています。

設問 7 は、「地域移行になった場合、活動する場所はどこが適当だと思いますか。」の問いに対して、「学校」が 37%、「学校外」が 48%、「その両方」が 12%となっています。

設問 8 は、「地域移行になった場合、あなたも指導者として関わりますか。」との問いに対して、61%の教員が「関わらない」と回答しています。

設問 9 は、「地域移行になった場合の影響についてお答えください。(複数回答可)」の問いに対して、アからキの理由の中から回答しています。「教職員の負担軽減につながる」と回答した人が一番多かったのですが、「土日の指導者との連携が難しくなる」や「生徒指導面の問題や外部指導者とのトラブルが発生する」と回答した人も多くいました。

設問 10 からは、地域移行に関する自由記述となっております。7 ページの下から 2 番目に「本来の仕事に専念できる環境ができる反面、生徒指導で部活動の果たす役割の大きさも実感しているので、不安もある。技術指導は専門の方にしてもらい、引率者は教員でというふうに役割分担をしてもよいと思う。」との意見がありました。

次のページの上から 2 番目に「生徒の特性、学校の立場等を理解していただける指導者でないと、トラブルが発生するという一番に心配しています。部活は生徒と教員の人間関係を築く大切な活動だと思っています。」という意見や

「教職員の働き方改革云々よりも、私は部活動を通して得られる感動や教育面での効果、私自身の成長等が多大だと思っている。専門外の部活を持たされたこともあったが、生徒も保護者も技術面とは別の次元で思いを共有することもありました。」という意見もありました。

その他には「地域を教員以外で考えることは、八幡浜では難しいのではないかと思います。やってもいいと考える教職員が地域の一員として活動できるようにしていくことを考える方が早いと思います。」という意見や「学校として信頼できる指導者であることや、もし指導者とうまくいかなかった時の子供への対応がどうなるかが気になります。」「平日と休日とで指導者が変わるとなると、連携が密でないと部活動の運営がしづらくなるように思う。その時間の確保が必要になるため、今よりも負担が大きくなるようにも感じる。」など、様々な意見が出されました。

部活動アンケート結果についての説明は以上です。

教育長

この件について、質問はありませんか。

成瀬委員

アンケート結果の報告を聞いて、様々な先生方の気持ちが書かれており、それだけ先生も一生懸命にやっていただいていると思ひ、気持ちが伝わってきました。

山下委員

段階的に地域移行を進めていくと思いますが、自由意見を見ると、どのような形で地域移行をするのか分からないという意見がありましたので、市としては、こういう方向性で地域移行を進めますという案を提示してからアンケート調査を行ったほうが良かったと思います。

もう一点がアンケートに当事者である子供たちや保護者の負担が増えると書かれていましたので、子供たちや保護者に対してもアンケート調査を実施した方が良いと思います。さらに、受け皿になっている団体の指導者に対してもアンケート調査を行い、今回のアンケート結果とすり合わせて地域移行を進めていけば良いと思います。

成瀬委員

地域移行は、市独自でルールを決めていくのですか。全国のガイドラインは示されるのでしょうか。

教育長

実際にスポーツにしても文化活動にしても、土日に誰が指導するのかということですが、松山市と八幡浜市では規模が違うので、自治体ごとに地域移行していくしかないと思います。一方、来年度から中体連の大会にクラブチームの参加が認められると思います。そうなった時に市を超えて活動する部活動も生まれてきます。

成瀬委員 部活動に応じて市が予算を付けるということですか。

教育長 それに関しては、まだ具体的な案はありません。

生涯学習課長 各種団体への委託や個別に指導者へ依頼する場合には費用が発生しますので、予算化しないとできないと思います。

泉委員 地域移行の目的の一つである先生の負担を軽減するというのですが、部活動を平日に1日と土日のうちどちらか1日を休日にする週休2日は、実際に守られているのでしょうか。

教育長 県総体や県のコンクール前であれば、休みは取らない場合もあると思いますが、それ以外は、きちんと週に2日の休みをとっています。

泉委員 週休2日であれば、土曜日か日曜日のうち1日を外部指導者に依頼するということになりますか。

教育長 そうなります。

菊池委員 アンケートにも紋別市のことが触れられており、ネットの記事を見ると地域の人たちとの乖離があり、うまくいかなかったということが書かれていました。民間も働き方改革をしていますので、受け入れる団体がないように思います。もしかしたら都市部だと地域移行に協力してくれる団体があるかもしれませんが、八幡浜市のような小さい町では難しいと思うので、週休2日を土日にとれば問題解決になるのではないかと思います。

また、クラブチームや個人に対して指導を依頼した場合、子供たちがけがした時の責任の所在はどうなるのでしょうか。学校は、地域移行したとしても何もしなくていいというわけにはいかないと思います。

それと、クラブチームの参加が認められると、中学校の大会とクラブチームの試合の時期が重なった場合、両方に所属している生徒が中学校の地区大会には参加せず、クラブチームの大会に参加しても問題がないのでしょうか。

あとは、学校統廃合にも関係しますが、何よりも一番の問題は、子供たちのリーダーの数が少なくなることだと思っています。部活動を地域移行した場合、八幡浜市の規模だとそれぞれ一つのチームに集約されていくことになり、それだけリーダーの数も減るので、教育の面で問題があるのではないかと思います。子供たちの中で、チームを纏めるときの苦悩など、子供の成長過程で大事な部分だと思います。私が今でも覚えている先生は部活動の顧問です。より厳しく指導して

くれた先生ほど心に刻まれています。その後の人生にも大きな影響を与えてもらっているのです、すごくありがたい出会いだっただと思います。

泉委員

少し飛躍してしまうのですが、福岡県古賀市の小中学校が2学期制を導入したことにより、先生の負担が軽減されたという記事を見ました。授業時間も今まで6時間だったものを1時間短縮し5時間となり、それにより部活動も早い時間に終わるので、部活動の負担も軽減されたという記事でした。先生は、学期ごとに研修会への出席や成績表の取りまとめなど負担が大きいのですが、3学期制から2学期制になると、その分の負担が軽減され、良い方向に向かったということでした。

それと、先ほど菊池委員さんが言われたように土日を休日にすればいいのではないかと思います。

教育長

そうすると、土日の地域移行はしなくてもいいということになるので、土日は、子供たちが自主的に地域の指導者に指導してもらうことになりませんか。

泉委員

アンケート結果を見ると、先生方はいろいろな問題を抱えていますので、まずは土日に休みをとれば良いと思います。

成瀬委員

将来的に自治体ごとに一つにしないといけないとなった場合、難しいのではないかと思います。例えば市内で二つは存続できるということであれば、文化部では先生と地域の指導者が協力して、地域移行することは可能なような気がします。

教育指導主幹

土日の練習試合はどうしますか。

教育長

八幡浜市で一つにするという考え方ではなく、例えば旧八幡浜で一つ、旧保内で一つとし、それぞれに土日の地域指導者がいるという体制を作れば、何とか地域移行できるのではないかと思います。問題は、練習試合をどうするかだと思います。土日の練習試合は、主として地域指導者が技術指導をして、先生はそれに関わり、先生と指導者が連携しながら指導できれば良いのではないかと思います。

菊池委員

問題視されるのは部活動の試合中に何かあった時ではなく、練習試合等の移動中に何か事故等が起きれば、その場合の責任の所在が問われることになります。地域移行するにあたって、民間に業務を委託したから学校は関係ないではなく、学校が地域移行に関してどこまで関わるのかをきちんと決めておかないといけないと思います。

泉委員

私たちの子供の時代は、先生は子供の送迎には関わらず、保護者が送迎してい

たように思いますが、今はどういう状況でしょうか。

教育長

今も保護者が子供たちを送迎していると思います。事故等のこともありますので、教員は子供たちの送迎はしていないと思います。

山下委員

練習試合等は、保護者が順番で送迎していると思います。

教育長

他に何かありませんか。

各委員

「なし。」

教育長

続いて、② 学校再編整備第二次実施計画について
学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長

平成30年2月に策定した「八幡浜市学校再編整備第二次実施計画」に基づき、統廃合を進めています。スケジュールには、平成30年度から令和4年度までの前期と令和5年度から令和9年度までの後期を示しています。前期では、小学校は、川上小学校と双岩小学校を神山小学校に統合する計画としており、中学校は、真穴中と松柏中を八代中に統合する計画としていました。前期では、4校を統廃合する計画でしたが、令和2年度に真穴中と八代中の統合だけが完了しております。

今年度は、前期5か年計画の最終年度に当たり、令和5年度からの後期5か年計画を策定するとともに、説明会の在り方等も見直す必要があると思っています。

今年度策定する後期計画は、前期で統合できなかった計画を基に素案を作成しています。また、資料の網掛け部分に記載のとおり、「段階を踏んでの1対1での統合」ではなく、「複数の学校をまとめて統合」にしています。対等統合による新規の学校を開設することで、特に中学校においては、部活動の選択肢が増える、1学年3クラス以上でクラス編成ができるなどが統合のメリットになると考えています。

また、統合を進めていく上では、通学支援の充実が重要になると思います。スケジュールは、来年1月にかけて月1回の定例教育委員会で検討を進め、後期計画を策定します。3月議会に報告した後、来年度から地域と膝詰めで話し合う場を設けたいと思います。

それから、現在の小中学校の位置を示した管内図を添付しております。
説明は以上です。

教育長

9月市議会の開会挨拶において、市長は、県立学校振興計画案が発表され、8月10日の地域説明会では強い反対はなかったという愛媛新聞の記事に触れ、高校生の未来のことを考えて、市としても今後も動向を見つめ、関わっていきたいと

話されました。その後、小中学校については、今年度末までに八幡浜市学校再編整備第二次実施計画の後期計画を作成して発表しますと発言されましたので、このスケジュールのとおり進めていきたいと思ひます。

それでは、報告・協議事項②については、来年3月の市議会定例会において報告する案件であることから、教育委員会会議規則第12条の規定に基づき、審議を非公開とすることを発議します。

この件について採決いたします。

賛成の委員さんは挙手をお願いします。

各委員

<全員挙手>

教育長

賛成全員です。

よって報告・協議事項②については、審議を非公開とすることを決定します。会議場の閉鎖をお願いします。

[議場施錠]

(非公開の審議)

[議場開錠]

教育長

今後も継続して協議していきたいと思ひますので、地域の方のご意見等がありましたら次回に発言をお願いします。

教育長

他に何かありませんか。

各委員

「なし。」

教育長

5 その他

(1) について、学校教育課長補佐をお願いします。

学校教育課長補佐

(1) の次回定例教育委員会の開催についてです。

10月13日(木)15時30分から保内庁舎3階 第4会議室にて開催予定です。それから、もう一点、今月27日から始まります学校視察スケジュールを配布しておりますので、集合場所及び出発時間の確認をお願いします。

また、本日、教育委員の皆様へ学校視察の資料をお配りしています。各学校から提出された来年度予算のための修繕・工事等の要望事項を取りまとめたものです。後ほどご確認ください。

以上です。

教育長

ご質問はありますか。

各委員

「なし。」

教育長

(5)その他
何かありますか。

各委員

「なし。」

教育長

それでは、以上をもちまして令和4年9月第9回八幡浜市教育委員会定例会を終了します。ありがとうございました。

[閉会時刻：午後4時45分]

八幡浜市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、ここに署名する。

令和4年9月8日

教育長

井上 靖

教育委員

菊池 誠

教育委員

泉 俊也

教育委員

山下 貴満

教育委員

成瀬 いづみ